VOLUME
31
2022年
1月1日発行

迎春

今年も大きなハートをお届けします
連携センタースタッフ一同　(*^ ▽ ^*) ♡

連携だより

地域医療機能推進機構 群馬中央病院
JCHO Japan Community Health care Organization

新年のごあいさつ

群馬中央病院の理念

4つの心　人権尊重の心 ｜ 人間愛の心 ｜ 奉仕の心 ｜ 向上心

群馬中央病院の基本方針

人権の尊重と人間愛を基本とした医療・介護を行い、地域の方々の健康と福祉の増進に寄与する。

地域医療・地域包括ケア・介護の連携の要として、
超高齢化社会における多様なニーズに応え、安全・安心・信頼を要とした医療と介護を提供する。

地域の医療・福祉機関との連携を密にし、地域医療における中核病院としての使命と役割を担う。

透明性が高く自立的な運営のもと、常に医療・介護水準の向上に努める。

新　年　の　ご

院長　兼地域医療連携センター長

内藤　浩

あけましておめでとうございます。

連携だより新年号発行にあたり、新年のごあいさつをさせていただきます。

今年の冬は寒さが厳しいのではないかと報道されています。個人的には寒いのは苦手で、予想がはずれてくれることを強く期待しています。

新年号は、糖尿病センターと耳鼻科の特集をさせていただきました。

糖尿病センターには新しく中島康代先生が加わっていただき、また、専門的な知識を学んだスタッフをより多く配属いたしました。日頃の投薬やインスリンの管理は登録医の先生がたにお願いし、専門的な指導や検査は当センターをご利用いただくことで、増え続ける糖尿病患者さんに対して、地域全体で質の高い医療を提供できると考えています。糖尿病患者でお困りのことがありましたら、お気軽に連携室にお問い合わせください。

耳鼻科に関しましては、一般的な耳鼻科診療に加え、嚥下外来も開設しております。高齢化社会において嚥下障害は避けて通れない問題です。適切な嚥下評価と訓練は、誤嚥性肺炎の発症や再発防止につながります。ぜひ、ご活用ください。

新型コロナ感染症が発生してから、すでに二年以上が経過いたしました。コロナ病床を確保するために、市内の主だった病院は、そのベッドの何割かをコロナ用に確保しており、一般診療には使用できなくなっています。当院も使用できるベッドは、コロナ禍以前の８割ほどに制限されています。例年冬は入院需要が多くなる時期ですが、残された病床を少しでも効率よく運用することで先生がたからのご紹介にできるだけご不便をおかけしないようにしてまいります。連携センターと看護部で毎日ベッドの調整をし、地域のニーズに何とか応えられるように頑張ってくれています。

コロナは今年で絶対に終息させ、来年楽しい新年号の巻頭言を書けるように強く祈っています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

あ　い　さ　つ

外科部長　兼地域医療連携センター長補佐

谷　賢実

With コロナから Beyond コロナへ

「換気・マスク・手洗い」を標語とした、いわゆる「新しい生活様式」が提唱されてから2度目の新年を迎えました。昨年中は新型コロナウイルス感染状況を睨みつつ、地域で求められる医療を提供できるように病院職員一同努めてまいりました。登録医の先生方をはじめ地域医療に従事する皆様のご支援により、一昨年に減少した紹介患者数はコロナ前のレベルまでほぼ回復いたしました。改めて感謝を申し上げます。その一方で、昨年9月のコロナ病床開設以降は一般病床が逼迫し、満床のために止むなく御紹介をお断りさせていただく事態となりました。皆様の期待を裏切る事となり誠に申し訳ありませんでした。

顔をあわせての意見交流の場である登録医大会は昨年も開催を見送らせていただきましたが、地域の先生方・医療機関の皆様には、コロナ禍でありながら連携室スタッフの個別訪問を快く受け入れていただきました。この2年間で136 名の先生方が新たに登録医に加わりました。昨年 11 月からは遅ればせながら歯科登録医制度を開始しました。今年はハイブリッド方式での地域連携カンファレンスに加え、多職種参加の地域包括ケア研究会の再開を予定しています。新規導入した地域医療連携システム medimap も本格稼働いたします。今年も「顔の見える連携」を継続してまいります。

県内でのクラスター発生や新型変異株による全国的な感染拡大の懸念、 3回目の追加ワクチン接種等、未だ余談を許さない状況ではありますが、「新しい生活様式」による With コロナの先を見据えて、皆様と一緒に地域医療を支え、コロナ禍を乗り越えた先の、災害時でも崩壊しない地域包括ケアシステムを作り上げていきたいと思います。

明けましてしておめでとうございます。群馬中央病院、および地域医療連携センターをご支援くださいますよう、今年もよろしく御願い申し上げます。

地域医療連携副センター長

西田　久美

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響について、患者さんやご家族様、そして地域医療に携わる皆様には、感染予防及び面会制限等にご協力いただきまして誠にありがとうございました。地域医療連携センターに配属となってから10 ヶ月が経ちました。地域や各機関の皆様とお会いできる機会でもある、研修の中止や縮小が相次ぎ、本来の連携の形が経験できず、もどかしさを感じております。当院でもオンラインでの研修が開催できるようになりましたが、実際にお会いできる研修が当たり前に開催できるようになることを願いつつ、時流に合わせた形での研修を企画運営し『顔のみえる連携』に努めて参ります。

また、地域医療連携センターでは、地域医療連携室・医療福祉相談室・患者支援室（入退院センター）が三位一体となり、外来から入退院、そして在宅療養に至るまで、各機関の皆様と連携をとり、地域医療を支援してまいります。本年も地域医療連携センターの活動へのご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。

糖尿病センター 診療科紹介

内分泌内科部長　中 島 康 代

医師紹介

根岸真由美（糖尿病センター長兼糖尿病・内分泌内科主任部長）
中島康代（副糖尿病センター長兼糖尿病・内分泌内科部長）
須賀俊博（循環器・内科医長）
登丸琢也（非常勤）
有山泰代（非常勤）

外来療養指導：看護部８名、栄養管理室７名、薬剤部３名、検査部３名
糖尿病認定看護師：１名
特定行為看護師：２名
日本糖尿病療養指導士（CDEJ）：14名
群馬県糖尿病療養指導士（G-CDEL）：10名

特色

2016年10月より新たな診療科として糖尿病・内分泌内科開始、2017年４月１日より日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ群として認定を受け、糖尿病センターとしてスタートし現在に至っています。また、本年10月より新たに中島康代医師が常勤医として赴任しました。以前に群馬大学にて糖尿病や内分泌疾患の専門医として診療にあたった経験を活かして当センターでの毎日の診療に従事しています。当科は常勤医３名に加えて有山医師（糖尿病：火曜日午前）と登丸医師（内分泌：金曜日午前）の２名が非常勤医として勤務し、ますます質の高い診療ができるよう研鑽を積んでいます。

糖尿病診療は入院、外来ともに多職種によるチーム医療で行っております。多くの看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士が研鑽を積み、毎年新たに日本糖尿病療養指導士（CDEJ）や群馬県糖尿病療養指導士（G-CDEL）を取得しております。看護部門では糖尿病認定看護師と特定行為看護師が活躍中です。毎週、多職種によるカンファレンスなどで常に互いの連携を図っています。

当院ではコントロール不良の他に、新たに糖尿病と診断された患者さんに、可能な限り入院をお勧めしております。入院中は食事療法を主とする糖尿病学習と、適応のかたに糖毒性解除のためのインスリン療法を行っております。２週間入院していただくと非常に効果が高いため、２週間入院を基本としておりますが、患者さんの実情に合わせて１週間または３日入院パスも使用しています。

入院中は特定行為看護師が常時患者さん数名を受け持ち、インスリン投与量の調整を行い、また退院後のインスリン量調整についてもアドバイスを行っています。

外来では認定看護師やCDEの資格を持つ看護師が生活療養指導に当たります。また入院、外来ともに栄養指導を管理栄養士が施行、インスリン自己注射指導を薬剤師、自己血糖測定指導を臨床検査技師が行うなど、専門的知識を生かして指導します。

外来では腎症２期以上の患者さんに対し、早期の段階から腎症予防指導として栄養指導、生活療養指導を行い、糖尿病腎症の進展や透析への移行を防止するよう努めています。足病変の予防としては、フットケア外来を火曜日午後に開設しています。午前診察時に足のチェックを行い、治療が必要な病変は皮膚科紹介等行い、治療が一段落した後に予防的フットケアを施行しています。

当センターの基本は連携パスを使用した糖尿病連携診療です。かかりつけ医の先生からご紹介いただいた初診時に基礎疾患や合併症の有無をチェックします。その後、説明と適応あれば入院予約、院内クリニカルパスによる学習入院を行います。退院約２週間後に自宅での療養状況をチェックし、連携センターを介して逆紹介を行います。連絡ツールは糖尿病連携手帳、薬手帳、自己血糖測定ノート（施行者のみ）です。

当院では約４か月後に栄養指導、その後は約半年毎に栄養指導の他に血管系合併症のチェックや腫瘍のスクリーニングを行っております。また随時、栄養指導や検査のみの依頼にも対応しています。簡潔な紹介状フォームを用意しておりますので、どうぞご活用ください。

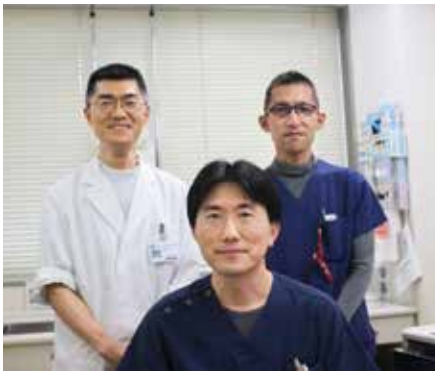
令和２年度
紹介患者数　　639名
新規入院数　　182名
インスリン導入　132名
外来栄養指導　　1167件
腎症予防指導　　52件
フットケア（合併症管理）　46件

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
午 前	根岸真由美 須賀 俊彦	根岸真由美 有山 泰代	中島 康代	中島 康代	根岸真由美 登丸 琢也
午 後		中島 康代 フットケア		根岸真由美	

耳鼻咽喉科 診療科紹介

耳鼻咽喉科部長　工 藤　毅



医師紹介

耳鼻咽喉科部長　工藤毅（平成11年卒／日本耳鼻咽喉科学会指導医・専門医）
耳鼻咽喉科医長　内山通宏（平成14年卒／身体障害者福祉法指定医）
非常勤　竹腰哲男、塚田晴代

2019年４月より、２名の常勤体制となりました。外来診療については、午前は一般外来として、完全予約制にて耳鼻咽喉科全般を扱いますが、悪性腫瘍や緊急手術を要する疾患は群馬大学をはじめ、近隣関連病院に紹介し連携をとっております。

午後は嚥下外来、手術説明等専門外来を行っております。

入院については、地域医療機関から多く紹介を頂き、急性期疾患を中心に対応しています。外来診療を円滑に行い、入院対応が迅速にできるよう、退院後は紹介元へ逆紹介させて頂き、地域医療機関と連携をとりながら診療しています。

耳鼻咽喉科疾患で心配な方、お気軽にご相談下さい。

●外来

午前中は一般外来（予約制）
午後は専門外来（検査）
嚥下外来　漢方外来　小児難聴　など

●入院　主な疾患

急性扁桃炎・扁桃周囲炎
めまい
突発性難聴
顔面神経麻痺　等の急性期疾患

●手術　主な疾患

扁桃腺摘出・アデノイド切除（小児のみ）
鼓膜チューブ留置（主に小児）
先天性耳瘻孔（小児・成人）　等

嚥下外来

在宅で介護支援をうける高齢者や誤嚥性肺炎で入退院を繰り返す患者さんは多く、嚥下障害は注目されている分野です。当院は嚥下リハビリの専門知識をもったスタッフが在籍しており、それぞれの患者さんにあったリハビリを提案し、患者さんのQOLの向上をめざしています。

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
午 前	工藤　内山	工藤　内山	内山	工藤　内山 （紹介外来）	工藤　内山
午 後	検査	内山（嚥下） 竹越	検査 塚田	－	内山（嚥下）

2022年4月より外来のファイバースコープを、オリンパス社製のVISERA ELITEシステムへ更新します。
NBIを用いた観察が可能となり、微細な病変を早期発見できようになります。

連携センター　新入職紹介

昨年12月より社会福祉士として入職致しました、神戸麻記子と申します。（写真中央）

不慣れではありますが、日々の業務を行うにあたり、「幅広い視野」と「長期的な視点」を持てるよう心がけ、患者さん及びご家族の皆様へのサポートや、地域医療の推進に少しでも貢献できるよう、努めて参りたいと考えております。

院内のスタッフ、そして地域の関係機関の皆様との「多職種連携」を大切に取り組んで参りたいと存じますので、今後ともご指導・ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

JCHO群馬中央病院　外来診療担当医一覧表　☎027-221-8165

受付時間：午前8時～午前11時　休診日：土曜、日曜、祝日、年末年始（12/29～1/3）　2022年1月1日現在

診療科・曜日			月	火	水	木	金
内　科	総合内科（初診）	午前	齋藤 勇一郎	小保方 優・阿久澤 暢洋	今井 邦彦・阿久澤 暢洋	北原 陽之助	佐藤 浩子・阿久澤 暢洋
	一般（予約）	午前		阿久澤 暢洋	田嶋（糖尿病）・阿久澤	今井（循環器）・田嶋（糖尿病）	阿久澤 暢洋 長谷川 典子
		午後	今井（循環器）・田嶋（糖尿病）	北原 陽之助（循環器）	今井 邦彦（糖尿病）	大山 啓太	田嶋 久美子（糖尿病）
	循環器内科（予約）	午前	羽鳥 貴・吉田 尊 田村 峻太郎（不整脈2・4週）	羽鳥 貴	吉田 尊	須賀 俊博	
		午後		須賀 俊博			羽鳥 貴
	呼吸器科（予約）	午後	武藤 壮平	申 悠樹	解良 恭一	小池 陽子	蜂須 克昌
和漢診療科		午前	小暮 敏明	小暮 敏明	小暮 敏明	小暮 敏明・山本 佳乃子	小暮 敏明
		午後	小暮 敏明		小暮 敏明（リウマチ）	小暮 敏明	
神経内科（予約）		午前	大沢 天使	清水 千聖			大沢 天使
		午後	金子 由夏	清水 千聖	大沢 天使		
消化器内科	初診	午前	堀内 克彦	田原 博貴		湯浅 和久	
	予約	午前		小川 綾	堀内 克彦・小川 綾		湯浅 和久・堀内 克彦
		午後			田原 博貴	岡村 亜弓	
糖尿病センター		午前	根岸 真由美・須賀 俊博	根岸 真由美・有山 泰代	中島 康代	中島 康代	根岸 真由美・登丸 琢也
		午後		中島 康代 フットケア		根岸 真由美	
小児科	一般	午前	河野 美幸・田代 雅彦	須永 康夫・田代 雅彦	水野 隆久・田代 雅彦	須永・田代・小笠原	須永 康夫・河野 美幸
		午後（予約）	橋本 真理（神経専門）		平形（専門1・3・4・5週） 田代（循環器）新井（専門2週）	田代 雅彦（循環器）	
	神経発達（予約）	午前	須永 康夫		須永 康夫		
		午後	須永 康夫	須永 康夫	須永 康夫		須永 康夫・春日 夏那子
	アレルギー（予約）	午前					水野 隆久
		午後	水野 隆久			水野 隆久	水野 隆久
	腎　臓（予約）	午後				髙木 陽子	小笠原 聡
	発達フォロー（予約）	午後		河野 美幸	河野 美幸	河野 美幸	
	乳児健診（予約）	午後	春日 夏那子・平形 絢子	春日/平形・小柳/清水			
	予防注射（予約）	午後			江原 由佳子・川上 千紗		
外　科	一般・消化器	午前	内藤 浩・深澤 孝晴 髙橋 宏一	福地 稔・谷 賢実 篠原 正樹・調 憲 （肝・胆・膵）【紹介】	福地 稔・斎藤 加奈 西川 達也・阿部 知伸 （心臓血管外科）	内藤 浩・深澤 孝晴 渡辺 亮（肝・胆・膵）	斎藤 加奈・髙橋 宏一 田部 雄一
		午後（予約）		山口 玲 （脳神経外科14:00～）		大瀧 容一（呼吸器外科） 長嶋 起久雄（緩和ケア外科）	
	乳腺・甲状腺（紹介）	午前				矢島 玲奈	
		午後	藤井 孝明 （14:00～17:00）				
整形外科		午前	寺内 正紀（膝） 堤 智史（脊椎） 中川 由美（脊椎） 中島 飛志（脊椎）	寺内 正紀（膝） 中島 飛志（脊椎） 畑山 和久（膝） 下山 大輔（一般）	中川 由美（脊椎） 畑山 和久（膝） 下山 大輔（一般）	堤 智史（脊椎） 中川 由美（脊椎） 中島 飛志（脊椎）	寺内 正紀（膝） 畑山 和久（膝） 堤 智史（脊椎） 下山 大輔（一般）
		午後（予約）					畑山 和久（膝） （第1・第3金曜日）
産婦人科	一　般	午前	伊藤 理廣・金井 眞理	北原 慈和・伊藤 理廣 （8:30～10:00）	太田 克人・矢﨑 淳	伊藤 理廣（不妊不育） 太田 克人・田村 美樹	伊藤 理廣・安部 和子
		午後（予約）	太田 克人（検査）	金井 眞理 手術	太田 克人 矢﨑 淳（産後）	伊藤 理廣（術前）	太田 克人（検査） 安部 和子
	妊婦健診	午前	田村 美樹	安部 和子	森田 晶人（8:30～10:00） 伊藤 理廣（10:00～）	矢﨑 淳	岡庭 隼
		午後（予約）	田村 美樹		伊藤 理廣 （13:00～14:30）	篠﨑 博光（ハイリスク）	
眼　科		午前	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子	前嶋 京子
耳鼻咽喉科		午前	工藤 毅・内山 通宏	工藤 毅・内山 通宏	内山 通宏	工藤 毅 内山 通宏	工藤 毅・内山 通宏
		午後（予約）	検査	内山 通宏（嚥下） 竹越 哲男	塚田 晴代（検査）		内山 通宏（嚥下）
麻酔科		午前	大川	川崎	富岡	髙橋	富岡
皮膚科		午前	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎	龍崎 圭一郎
		午後（予約）				龍崎 圭一郎	
泌尿器科		午前			羽鳥		
歯　科（予約）		午前・午後	平林 晋	平林 晋	平林 晋	平林 晋	平林 晋

【ご案内】①**医療機関等からの紹介状をお持ちの方は、できるだけ事前に予約して頂くようお願いします。（平日 8：30 ～ 18：00）**　※詳細についてはホームページをご確認下さい。

連携室直通電話：027-223-1373　FAX：027-223-1374

②一部の診療科については予約制、紹介型外来等を行っております。
◎予約制外来……原則、午後は和漢診療科以外の診療科は予約制となっています。終日予約（神経内科、歯科、禁煙外来）
◎紹介型外来……乳腺・甲状腺（月曜日の午後・木曜日の午前）

③その他
・消化器内科は、水曜日と金曜日は予約外来のみとなっております。
・整形外科は、月曜日と金曜日の初診受付については、紹介状持参患者のみとなっております。
・総合内科は、初診・紹介状持参患者のみとなっております。
・緩和ケア（精神科）は、他科からの紹介患者のみ外来診療を行っております。
（第1・3・5週木曜日の午後　須田　第2・4週金曜日の午後　井上）

診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

受付時間
8:30～18:00
土・日・祝日は除く

TEL 027-223-1373［直通］
FAX 027-223-1374［直通］

独立行政法人 地域医療機能推進機構

群馬中央病院

〒371-0025 前橋市紅雲町1丁目7番地13号 TEL 027-221-8165 FAX 027-224-1415
ホームページ http://gunma.jcho.go.jp/　フェイスブック https://www.facebook.com/gunmatyuoubyouin/